

低・中学年における創造的な資質・能力の素地を育成する学習

第3学年

理科「明かりのつくおもちゃをつくろう」



理科「明かりのつくおもちゃをつくろう」の単元で、大森学園高等学校と連携した授業を行った。児童は、自分のおもちゃを、よりよく楽しいものにしたいという思いをもって高校生に積極的に質問し、おもちゃをレベルアップするための助言を聞いて試行錯誤しながらおもちゃを改良した。また、高校生から、アイデアを褒められ、意欲的に活動に取り組む姿が見られた。

社会「工場のひみつ伝え隊」



社会科「工場のひみつ伝え隊」では、学区域の町工場の方々に、どんなものを作っているか、自慢の技術は何か等を、調査した情報をまとめてPR動画を制作した。

動画作成の際には、日本工学院専門学校先生方に、動画の作り方を教えていただくとともに、考えた企画をよいものにするにはどうしたらよいか等の助言をいただいた。児童は、工場の秘密が伝わるように、学んだことを生かして、工夫して編集作業に取り組み、動画を完成させることができた。

第4学年

総合的な学習の時間「私がていあん ハッピーなお菓子」



総合的な学習の時間「私がていあん ハッピーなお菓子」では、ターゲットの人が食べたくなるお菓子を試行錯誤しながら考え、商品の提案をした。

授業協力者の亀田製菓には、商品の開発の手順を教えていただくことや、児童が考えたお菓子のプレゼンテーションに対するフィードバックをいただくことに協力いただいた。児童は、企業の方からのフィードバックを生かして、提案内容を改善し、資料にまとめることができた。

総合的な学習の時間「我が町プロデュース」



総合的な学習の時間「我が町プロデュース」では、学区域の町会の方々から、地域の困りごとを聞き取り、それを解決し、地域を盛り上げるための企画づくりを行った。大田観光協会の方々からは、実際に行った大田区を盛り上げる企画や、企画づくりの方法などを教えていただいた。これらのことを踏まえて、児童は町を盛り上げるために、ごみ拾い大会や、子ども祭り、必要な施設などの企画を考えた。また、効果的に伝える方法を考え、プレゼンテーション資料をまとめることができた。